

東海道五十三次と富嶽三十六景展



広重

ヴァイオリンとピアノ デュオ・コンサート

日時： 4月2日(日) 13:30~14:30

会場： 東京富士美術館 ロビー

出演： 名倉淑子(ヴァイオリン)
ラファエル・アルフォンソ・ゲーラ(ピアノ)

内容： 東京カルテットの初代メンバーで、世界中で演奏活動を行った名倉淑子とともに、メキシコ、米国を中心にソロ・室内楽の分野で活躍し、現在は日本で活発な演奏活動に取り組むラファエル・アルフォンソ・ゲーラ氏によるデュオ・コンサート！ ベテランの名演を心ゆくまでお楽しみください。

曲目： シューベルト／ヴァイオリンとピアノのための二重奏曲よりイ長調、
E. エルガー／朝の歌、W. クロール／バンジョーとヴァイオリン、
ラヴェル／ハバネラ形式による小品、ツィガーヌ
ガーシューイン／ポギーとベスより「そんなことはどうでもいいの」

名倉 淑子(ヴァイオリン) なくら●よしこ

桐朋学園大学付属高校音楽科、同大学音楽学部を共に首席で卒業。
ジュリアード音楽院に留学、同音楽院在学中に東京カルテットを結成。
1970年にミュンヘン国際コンクール及びアメリカのコールマン、コンクールで共に第1位優勝。

その後、世界各地を演奏旅行し、数々の国際フェスティバルに出演。ドイツグラモフォンのレコーディング等で活躍。1974年に東京カルテットを退きベルギー、アメリカ、ドイツと拠点を移しながらソロ、室内楽、教育の分野で活発な活動を行う。リサイタル、オーケストラとの共演多数。1981年にドイツのバンベルグ交響楽団のゲストコンサートマスターに就任。日本オクテットのメンバーとしても活躍。

1988年帰国し現在桐朋学園大学講師、フェリス女学院大学音楽部教授。尚、水戸室内管弦楽団、サイトウキネンオーケストラのメンバー等、ソロ、室内楽分野で幅広く活躍中。

ラファエル・アルフォンソ・ゲーラ(ピアノ)

メキシコ、シナロア州に生まれる。メキシコシティーにて、ホーヘ・フェデリコ・オリオに師事する。渡米し、マンハッタン音楽院において、アルカディ・アロノフのもとで学ぶ。その後オハイオ州立シンシナティ大学にて、ピアノを故ウィリアム・ブラックに、室内楽をジェームス・トッコ、サンドラ・リバーズに師事する。ニューオリンズ・ピアノコンクールにて第1位、コンサート・アーティスト・ギルド(ニューヨーク)ファイナリスト、サン・アントニオピアノコンクールにて最優秀賞を受賞。シンシナティ大学・フィルハーモニック・オーケストラ、グアナファト・室内オーケストラと共演。メキシコ、米国を中心にソロ、および室内楽の演奏を行う。1997年より日本を拠点とし、アマデウス・アンサンブル・オーケストラ、モーツァルト・アンサンブル・オーケストラと共演、黒沼ユリ子、名倉淑子、浦川宣也とのデュオ、クライネス・コンツェルト・ハウス室内楽シリーズ出演など、意欲的に演奏活動を行っている。

